～「笑顔あふれる西の里中に」～

西の里中だより

北広島市立西の里中学校　　西の里７９０番地(電話：０１１－３７５－２８４３)
令和６年度　第１０号　令和６年１２月２４日発行　発行責任者　髙橋　浩子
ホームページアドレス　http://www.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/nishinosatot/

異学年集団の活動で育む優しさとたくましさ

校長　　髙橋　浩子

本校では年間を通して異学年混合で活動する機会が多くあります。今年度は体育祭前のA組･B組それぞれの連合チーム内のアイスブレイクから始め、体育祭、学校祭合唱コンクール、いじめゼロ集会、百人一首大会で意図的に異学年集団での活動を取り入れています。生徒にも好評で、生徒会役員選挙で異学年交流の機会を増やす公約を掲げた生徒もいたほどです。

日常的には、学校生活を共にしているのは学級の仲間であり、異学年で交流する機会は委員会活動と部活動くらいです。中学生になると、部活動、塾、習い事などで放課後の時間も埋まり、自然発生的に異年齢集団で健全な時間を過ごすということは、なかなかありません。そんな中で、異学年集団の活動は大きな意味を持つと考えています。実際に体育祭や百人一首の活動を見ていると、上級生が下級生をリードし、下級生は上級生をお手本にしていく姿があります。(学年が上がると役割が推移していきます。)上級生の接し方を見ていると、同学年ならば言葉を端折りがちなことも、しっかり言葉にして相手の表情を確認しながら伝えていることがわかります。また、多様な価値観や表現方法を持つ人との出会いに戸惑いつつも、それを否定するのではなく包摂的な関係がつくられていくグループもあります。

1小１中で１学年 50～60 名程度の規模である本校では、固定化した人間関係の中で長い時間を過ごしてきたために、社会性が求められるコミュニケーションにおいては、やや不器用な生徒も多くいます。その枠を超えて人と関わる機会であることが大きな意味を持ちます。先輩に褒められたり、一緒に拍手したり笑ったりしているうちに、「眼差しを向け、伝わる言葉で伝えること」や「伝わる言葉や表情、仕草で応じること」、「相手を理解しようとすること」を経験し、人と関わる喜びを知ることができます。それは共生社会の実現につながるものです。さらに、こうした気づきを同学年集団に戻ったときに生かせれば、互いに相手を尊重した新たな人間関係を築けるのではないか、とも考えています。

夏から冬へと駆け抜けた２学期が終わります。様々な挑戦を積み重ねてきた子どもたちは、４月当初に比べて体も心も大きく成長しました。３年生は希望進路が確定し、将来と現在を見据えることでずいぶん大人の表情を見せるようになりました。入試に向けての生徒同士の面接練習は、相互理解が深まる機会ともなり、温かい眼差しと鋭いアドバイスが同居する様子を見ていると、思わず笑みがこぼれます。

明日から 21 日間の冬季休業に入ります。生徒の皆さんが交通事故やネットトラブルに巻き込まれることなく、健康に過ごすことを願うとともに、気持ち新たに目標を語る始業式を楽しみにしています。

御家族、地域、関係機関の皆様には、本年も大変お世話になり、ありがとうございました。どうぞよいお年をお迎えください。

SC 道徳「心の授業」

本校では毎年スクールカウンセラーの関谷先生による道徳の授業を全学年で実施しています。１，３年生は５月に行いました。２年生は 11 月に「コミュニケーションを上達させよう」ということで、アサーティブな自己表現を学習しました。攻撃的な方法でも、非主張的な方法でもなく自分の気持ちや考えを、正直に、その場にふさわしい方法で表現することを学びました。

ダンスの授業（1・2年体育）

11/27(水)と 12/6(金)に保健体育の授業として、1･2年生がそれぞれ2時間ずつ２日間で４時間のダンスの授業を行いました。授業には Pony entertainment の方に講師としていらしていただきました。軽快な音楽に合わせて、基本的な動き、ステップを学び、練習をスタートし、２日目の最後にはグループごとに習った踊りを組み合わせ、授業の成果を発表しました。

いじめゼロ集会

12／12（木）5，6 時間目に全校生徒が体育館に集まり、生徒会役員が中心となって「いじめゼロ集会」を行いました。

「いじめをしない・させない・認めない」という考えを共有するために生徒会役員が、いじめの定義の再確認を行い、そのあとに、いじめが起こりそうな場面を演じて、「こんなときどうする？」ということをみんなに投げかけたり、言葉遣いについて考えるリフレ-ミングの問題を出したりしました。集会では、生徒会役員が分けた異学年によるグループで話し合いを行い、いじめゼロについての思いを全校で確認しました。

西の里次世代育成交流会・市民参加フォーラム

11月 24 日(日)に北広島西高校で「西の里次世代育成交流会･第２回市民参加フォーラム」が開催されました。本校からは生徒が6名と教職員３名、PTA3 名が参加しました。「多世代で築く西の里のビジョンとコミュニティ施設」をテーマに 100 名を超える参加者がグループに分かれて交流会が行われました。西の里の小中高生･保護者･地域･教員が語り合う素晴らしい交流会でした

西の里音楽祭

15 日(日)に西の里中学校体育館で開催されました。中学校からは２年生の学年合唱と吹奏楽部が音楽祭に参加しました。この日に向けて、限られた時間の中で練習に取り組み、当日は多くの観客を前に、美しい歌声と音色を会場に響かせました。来場者からは大きな拍手と称賛を頂きました。

いじめ根絶に向けて【11 月調査結果】

１１ 月に今年度２回目の「いじめアンケート」を実施しました。結果は次の通りでした。

・嫌な思いをしたことがある。　…１３名
・友人が嫌な思いをしているのを見たり聞いたりしたことがある。　…１９名
・いじめはどんな理由があっても許されない。…そう思う　１３７名
　そう思わない・よくわからない　２１名

いやな思いをしたことが「ある」と回答した生徒については、速やかに校内いじめ対策委員会にて状況の事実確認を行い、重複するものを除く１１件の事例をいじめと認定し、指導・説諭・保護者連絡等の対応を行いました。現在は嫌な思いをすることなく過ごしていますが、今後も引き続き生徒たちの様子を見守っていきます。いじめの定義については、「いじめ防止対策推進法」において「当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの」となっています。本校ではこの法律に基づいて今後も対応いたします。

また、いじめの未然防止対策として、生徒と担任の教育相談、スクールカウンセラーによる SOS の出し方の授業、「心とからだの健康調査」の実施、授業での「対話」を通したコミュニケーション能力の向上、学年縦割りによる学校行事の開催、生徒会によるいじめゼロ集会の実施等、今後も計画的に取り組んで参ります。何か心配なことがありましたら学校にご連絡ください

20 日（金）には、相談窓口一覧のプリントも配布しています。悩み事を抱え込まず、相談することが大切です。学校や家庭のことで相談できる２４時間対応の窓口もありますので、ご活用ください。

日	曜	1月の行事予定	朝読	時程	給食	部	相談員SC	司書
1	水	年始休業（学校閉庁日）				×		
2	木	年始休業（学校閉庁日）				×		
3	金	年始休業（学校閉庁日）				×		
4	土					△		
5	日					△		
6	月					○		
7	火					○		
8	水					○		
9	木					○		
10	金	校務部会、学年・ポプラ部会				午後○		
11	土					△		
12	日					△		
13	月	成人の日				△		
14	火	職員会議				午後○		
15	水	3学期始業式、短縮日課	×		○	○	相談員	○
16	木	3年第3回定期テスト②（5教科）	1, 2年○, 3年勉	5 h	○	○	相談員	○
17	金	職員会議、短縮日課	×	5 h	○	×	SC	○
18	土					△		
19	日					△		
20	月	(生)定例委員会・本部会	○		○	○		
21	火		勉		○	○	相談員	
22	水	里中タイム	○		○	○		
23	木		夕		○	○	相談員	
24	金		○	5 h	○	○		
25	土	土曜公開授業、短縮日課	×	3 h	×	△		
26	日					△		
27	月		○		○	○	SC	○
28	火	新入生説明会(西の里小)	勉		○	○	相談員	○
29	水		○		○	○		
30	木		○		○	○	相談員	○
31	金	会議日	勉	5 h	○	×	相談員	○

本校の学校閉庁日は１２月２９日(日)から１月３日(金)までです。この期間、学校に職員はおりません。また、２８日(土)～１月５日(日)までは、「転送電話サービス」となり、学校の電話は繋がらなくなります。緊急の場合は、北広島市教育委員会（学校教育課 tel　011-372-3311）にご連絡ください。

１年生の美術作品
クリスマスオーナメントで飾られたツリー

PTA からの連絡

11 月 13 日(水)に行われた役員会で予算の執行状況について協議を行いました。今年度、運営費の中の旅費に５万円を計上していましたが、日Ｐ千歳大会に伴い、各種研究大会等が実施されないことになり、旅費の支出が今後もない状況となりました。他の執行状況等を考慮し、各学年の連絡委員会に２万円ずつの再配分を行い、学年レク等で執行してもらうことにしましたのでご報告いたします。

高校生インターンシップ

教員志望の高校生に学校現場を実際に体験してもらうインターンシップ事業が今月、西の里中学校でも行われました。 西の里中学校には、北広島高校の生徒２名が体験をしに来ました。

少し緊張した面持ちで始まった実習ですが、各学年の帰りの会等で中学生に高校の様子を伝える場面では、徐々に慣れ、中学生に分かりやすく落ち着いて説明ができるようになっていきました。また、中学生も積極的に高校生に質問をして、将来の高校生活をイメージしていたようでした。